



環境経営レポート

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日



作成日：2025年7月16日



恵和興業株式会社 および
ケイワ・エコグリーン株式会社

目次

1. 組織の概要.....	2
2. 沿革	3
3. 登録認定許可一覧	5
4. 処理の流れ.....	9
5. 廃棄物の運搬量・受託量・処分量	11
6. 環境経営方針	12
7. 実施体制.....	13
8. 役割・権限・責任	14
9. 環境経営目標（単年度および中長期）	15
10.環境経営計画.....	16
11.環境経営目標およびその実績.....	17
12.環境活動状況.....	18
13.環境経営計画および取組結果とその評価.....	20
14.環境関連法規等 遵守状況の確認と評価.....	21
15.代表者による全体評価と見直しの結果	22
16.次年度の環境経営計画	23

1. 組織の概要

1. 概要

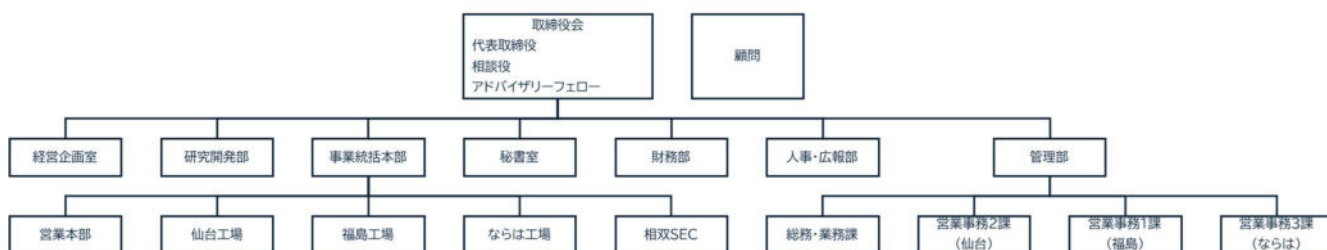
恵和興業株式会社およびケイワ・エコグリーン株式会社は 2020 年 10 月より本取組を開始しました。
社員一人一人が持続可能な社会へ向け 5 事業所統一して環境活動に取り組んでいます。

2. 会社情報 ※2024 年 4 月時点

会 社 名	恵和興業株式会社（統括会社）	ケイワ・エコグリーン株式会社
代表者氏名	代表取締役 笹川 慎太郎	代表取締役 堀切 吉雄
設 立	昭和 52 年 4 月 14 日	平成 18 年 5 月 1 日
資 本 金	1,000 万円	1,000 万円
事 業 内 容	産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物中間処分業 一般廃棄物中間処分業 再生路盤材及び再生木チップの製造・販売 共同浄化槽の管理	産業廃棄物および特別管理廃棄物収集運搬業
所 在 地	【本社】 宮城県仙台市泉区西田中字杭城山 55-6 【管理統括本部】 福島県福島市上鳥渡字しのぶ台 4-6 【ケイワ・リサイクルセンター福島】 福島県福島市荒井字北一の坂 3-1 【ケイワ・ゼロエミプラントならは】 福島県双葉郡楡葉町大字山田岡仲丸 1-35 【ケイワ・リサイクルセンター仙台】 宮城県仙台市泉区西田中字杭城山 47-1 【ケイワ・ゼロエミプラント仙台】 宮城県仙台市泉区西田中字杭城山 55-6 【ケイワ・エネルギーステーション仙台】 宮城県仙台市泉区西田中字杭城山 47-9	福島県郡山市西田町鬼生田字大谷地 410-1
従 業 員 数	93 名	18 名
対 象 範 囲	全活動・全組織	
売 上 額	317,046 万円（2024 年度 恵和興業、ケイワ・エコグリーン合計）	
環境管理責任者 および担当者	代表責任者 恵和興業株式会社 代表取締役 笹川 慎太郎 環境管理責任者 恵和興業株式会社 執行役員 福島事業所長 物流最適化担当 本多 亮 環境事務局 恵和興業株式会社 管理部 営業事務 2 課(仙台) 主任 熊谷 伊豆美	

【組織図】 ※2024 年 4 月時点

恵和興業株式会社



ケイワ・エコグリーン株式会社



【社是】

おそ 恐れず おご 驕らず あなど 侮らず

【理念】

経営理念

日本の発展に貢献できる人材を創出する

行動目標

地域に寄り添った持続性の高いサービスを提供する

価値観

- ・ 一期一会
- ・ ご縁に感謝
- ・ 念ずれば花ひらく
- ・ 試行錯誤、まずはやってみよう

コーポレートスローガン

わを広げ、和で満たす



コーポレートマーク

「わ」を広げ、和で満たすというビジョンから、つながりや循環をイメージさせる∞(無限大)を縦横に重ね会社の紋としました。
循環型社会の構築に取り組み、次なる環境リサイクル事業実現の可能性を込めています。

2. 沿革

1977 年 4 月	福島市南沢又に「誠和興業株式会社」を設立
1982 年 2 月	福島市上鳥渡「しのぶ台サントウン」宅地開発事業
1984 年 2 月	社名を「恵和興業株式会社」に変更
1985 年 1 月	本社を仙台市青葉区みやぎ台に移転

1986 年 9 月	仙台市青葉区一番町にレストランバー「Cay one」を開業
1987 年 8 月	福島市上鳥渡に「福島営業所」を設置
1987 年 9 月	福島市荒井に「一の坂最終処分場」を設置 産業廃棄物処理業開始（福島県許可 収集運搬・最終処分業）
1989 年 11 月	処分場増設に伴う変更許可および増設工事
1990 年 7 月	福島市内にゴルフ&リゾート開発事業のコンサルタント業務
1991 年 12 月	処分場増設に伴う変更許可および増設工事
1992 年 12 月	処分場開発会社「株式会社ケイワ・イージェック」を福島営業所内に設立 ゼネコン 95 社と共同で福島市内に最終処分場・中間処理場・保養センターを併設する総 合リサイクルセンターを計画 レストランバーCay one 閉鎖
1994 年 4 月	小型溶融炉「K&D スーパーチャージャー」開発
1998 年 4 月	株式会社ケイワ・イージェックを解散
1999 年 6 月	一の坂中間処理リサイクルセンター（福島リサイクルセンター）開業 消滅型処理から循環型処理への転換
2001 年 4 月	仙台市泉区西田中に「ケイワ・リサイクルセンター仙台」開設
2003 年 8 月	「ケイワ・リサイクルセンター仙台」の焼却炉改造（ダイオキシン対応）
2005 年 2 月	協力業者会「ケイワ会」発足
2005 年 11 月	一般廃棄物処理業開始（福島県許可 木くずの中間処理）
2006 年 5 月	郡山市西田町鬼生田に「ケイワ・エコグリーン株式会社」設立
2007 年 12 月	仙台市泉区西田中に「ケイワ・ゼロエミプラント仙台」開設
2008 年 3 月	「福島リサイクルセンター」を「ケイワ・リサイクルセンター福島」に名称変更
2011 年 12 月	代表取締役変更 本社を仙台市泉区西田中へ移転
2012 年 10 月	宮城県災害廃棄物処理業務〈気仙沼ブロック（南三陸処理区）〉において 清水建設 JV 造粒前処理施設・造粒施設の運営管理業務を受託 平成 25 年 10 月に完了し造粒処理により 61,000 t の復興資材を製造
2014 年 3 月	安定型最終処分場の埋立処分終了
2015 年 6 月	「ケイワ・リサイクルセンター仙台」破碎プラントリニューアルオープン
2015 年 12 月	「事業統括本部」（現：管理統括本部）社屋新築移転
2017 年 2 月	「ケイワ・リサイクルセンター仙台」焼却プラント廃止
2017 年 3 月	「ケイワ・エネルギーステーション仙台」開設
2017 年 5 月	福島県双葉郡楢葉町に「ケイワ・ゼロエミプラントならは」開設
2019 年 1 月	代表取締役変更
2020 年 1 月	「本社」新社屋落成
2020 年 8 月	「株式会社竹内建設」を完全子会社化
2021 年 9 月	「ケイワ・リサイクルセンター福島」リニューアルオープン
2022 年 5 月	福島市荒井一の坂最終処分場を廃止
2022 年 8 月	ケイワ・エコグリーン株式会社新社屋落成
2024 年 7 月	ケイワ・エネルギーステーション仙台を廃止
2024 年 12 月	ケイワ・ゼロエミプラントならは圧縮梱包施設の廃止
2025 年 3 月	株式会社ジー・エス・ピーを完全子会社化

3. 登録認定許可一覧

○恵和興業株式会社

業種	許可番号	交付年月日	施設の種類の、産業廃棄物の種類の、処理能力、処理方式等
		有効年月日	
産業廃棄物処分業	仙台市許可 第 05420045090 号	令和 3 年 9 月 10 日 令和 8 年 8 月 31 日	事業区分：中間処理 設置場所：①宮城県仙台市泉区西田中字杭城山 47-1 ケイワ・リサイクルセンター仙台 処理方式：破碎 処理能力(8 時間)：がれき類 446.4t/日 ②宮城県仙台市泉区西田中字杭城山 55-6 ケイワ・ゼロエミプラント仙台 処理方式：破碎（選別・造粒工程を含む） 処理能力(8 時間)：[選別・造粒工程を含まない場合] 廃プラスチック類 16.6 t/日 紙くず 15.8 t/日 木くず 34.0 t/日 繊維くず 25.0 t/日 金属くず 51.6 t/日 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 156.8 t/日 がれき類 232.8 t/日 混合 160.4 t/日 [選別・造粒工程を含む場合] 混合 150.3 t/日 産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（これらのうち自動車等破砕物及び石綿含有廃棄物を除く）
	福島市許可 第 12420045090 号	令和 4 年 1 月 20 日 令和 8 年 12 月 23 日	事業区分：中間処理 設置場所：福島県福島市荒井字北一の坂 3-1 ケイワ・リサイクルセンター福島 処理方式・処理能力： 破碎選別 55.3 t/日(8 時間) 破碎（木くずの破碎処理）80 t/日(8 時間) （廃プラスチック類の破碎施設兼木くずの破碎施設兼がれき類の破碎施設） （12 時間） 廃プラスチック類 84.11 t/日 紙くず 72.09 t/日 木くず 431.77 t/日 繊維くず 67.29 t/日 金属くず 162.93 t/日 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 720.95 t/日 がれき類 592.78 t/日 （がれき類の破碎施設）（12 時間） ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 180.0 t/日 がれき類 300.0 t/日 選別破碎（廃プラスチック類の破碎施設兼木くずの破碎施設兼がれき類の破碎施設）（12 時間） 廃プラスチック類 106.8 t/日 紙くず 91.2 t/日 木くず 168.0 t/日 繊維くず 36.0 t/日 金属くず 344.4 t/日 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 180.0 t/日 がれき類 300.0 t/日

	福島県許可 第 00720045090 号	令和 4 年 4 月 20 日 令和 8 年 12 月 23 日	設置場所：福島県双葉郡楡葉町大字山田岡字仲丸 1-35 ケイワ・ゼロエミプラントならは 事業区分：中間処理 処理方式：破碎 処理能力：廃プラスチック類 87.15 t /日(12 時間) 紙くず 74.7 t /日 木くず 447.38 t /日 繊維くず 69.72 t /日 金属くず 168.83 t /日 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 747.02 t /日 がれき類 614.22 t /日 処理方式：選別・破碎 処理能力：廃プラスチック類 68.4 t /日、紙くず 58.8 t /日、木くず 108 t /日、繊維くず 24 t /日、金属くず 220.8 t /日、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 195.6 t /日、がれき類 289.2 t /日(12 時間) 処理方式：造粒固化 処理能力：燃え殻 141.17 t /日、汚泥 141.17 t /日、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 141.17 t /日、がれき類 141.17 t /日、ばいじん 112.94 t /日(12 時間) 処理方式：圧縮梱包(2025 年 12 月 10 日付廃止) 処理能力：廃プラスチック類 5.33 t /日、紙くず 5.09 t /日、繊維くず 2.54 t /日、金属くず 7.93 t /日、ガラスくず(ロックウール) 4.66 t /日、コンクリートくず及び陶磁器くず 3.77 t /日、がれき類(ロックウール) 4.66 t /日、がれき類(グラスウール) 3.77 t /日、混合廃棄物(木くず含む) 4.79 t /日(12 時間) 産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器くず、がれき類(これらのうち石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く) 燃え殻、汚泥(無機性のものに限る)、ばいじん(水銀含有ばいじん等を除く)
一般廃棄物処分業	福島市許可 第 66 号	令和 5 年 10 月 7 日 令和 7 年 10 月 6 日	木くず
産業廃棄物 収集運搬業	宮城県許可 第 00400045090 号	令和 3 年 9 月 1 日 令和 8 年 8 月 31 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉍さい、がれき類、ばいじん(これらのうち石綿含有産業廃棄物を含む。水銀使用製品産業廃棄物を含む。水銀含有ばいじん等を含む。廃プラスチック類、金属くず並びにガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは自動車等破砕物を除く)
	福島県許可 第 00707045090 号	令和 4 年 1 月 4 日 令和 8 年 12 月 23 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器くず、鉍さい、がれき類、ばいじん(これらのうち石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

○ケイワ・エコグリーン株式会社

特別管理産業廃棄物 収集運搬業	仙台市許可 第 05452074507 号 (優)	令和 5 年 11 月 28 日 令和 12 年 10 月 2 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻(カドミニウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、セレン又はその化合物、ダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る) 廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。) 鉍さい(カドミニウム又はその化合物、鉛又はその化合物を含むことのみにより有害なものに限る。) ばいじん(カドミニウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、セレン又はその化合物、ダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る) 感染性産業廃棄物、廃石綿等
--------------------	---	--------------------------------------	--

	福島県許可 第 00752074507 号 	令和 6 年 5 月 17 日 令和 13 年 2 月 8 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻（特定有害産業廃棄物）廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く。）ばいじん（特定有害産業廃棄物）感染性産業廃棄物、廃石棉等
産業廃棄物 収集運搬業	宮城県許可 第 00400074507 号	令和 3 年 12 月 7 日 令和 8 年 12 月 6 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥（石綿含有産業廃棄物を除く。）、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む。）、鉱さい、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）（これらのうち水銀使用製品産業廃棄物を含む。水銀含有ばいじん等を除く。廃プラスチック類、金属くず並びにガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは、自動車等破砕物を除く。）
	福島県許可 第 00702074507 号	令和 3 年 12 月 27 日 令和 8 年 11 月 25 日	積替え保管の有無：無 ※積替え保管許可は郡山市収集運搬業許可で取得（許可番号 08711074507） 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥（含水率 85% 以下のものに限る）、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん（これらのうち石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
	郡山市許可 第 08711074507 号	令和 3 年 10 月 11 日 令和 8 年 10 月 9 日	積替え保管の有無：有 積替え又は保管施設の所在地： 福島県郡山市西田町鬼生田字大谷地 410-1 保管面積と上限：廃プラスチック類(25.0m ² ・50.0m ³)、紙くず(2.5m ² ・5.0m ³)、木くず(30.65m ² ・61.3m ³)、繊維くず(1.67m ² ・3.33m ³)、ゴムくず(1.67m ² ・3.33m ³)、金属くず(4.0m ² ・8.0m ³)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(4.0m ² ・1.4m ³)、がれき類(5.38m ² ・10.76m ³) 産業廃棄物の種類： ① 積替え保管行為を含むもの 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、がれき類（これらのうち水銀使用製品産業廃棄物及び石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。） ② 積替え保管を含まないもの 燃え殻、汚泥（含水率が 85% 以下のものに限る）、鉱さい、ばいじん（これらのうち水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）
	茨城県許可 第 00801074507 号 	令和 6 年 1 月 15 日 令和 12 年 8 月 21 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻（水銀含有ばいじん等を除く）、汚泥（含水率 85% 以下のものに限り、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く）、廃プラスチック類（自動車等破砕物及び水銀使用製品産業廃棄物を除き、石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず（自動車等破砕物及び水銀使用製品産業廃棄物を除く）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び水銀使用製品産業廃棄物を除き、石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
	山形県許可 第 00609074507 号 	令和 7 年 4 月 20 日 令和 14 年 4 月 19 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥（含水率 85% 以下のものに限る）、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん

	栃木県許可 第 00900074507 号 	令和 6 年 3 月 28 日 令和 13 年 3 月 27 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
	群馬県許可 第 01000074507 号	令和 6 年 12 月 24 日 令和 11 年 12 月 23 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん
	埼玉県許可 第 01100074507 号	令和 6 年 6 月 3 日 令和 11 年 3 月 26 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）及び陶磁器くず、がれき類
	千葉県許可 第 01200074507 号	令和 3 年 4 月 8 日 令和 8 年 4 月 7 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥、廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず（自動車等破砕物を除く）、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く）、がれき類、ばいじん（これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く）
	東京都許可 第 1300074507 号	令和 3 年 4 月 9 日 令和 8 年 4 月 8 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん
	神奈川県許可 第 01400074507 号	令和 3 年 2 月 17 日 令和 8 年 2 月 16 日	積替え保管の有無：無 産業廃棄物の種類：（特別管理産業廃棄物であるものを除く。）燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類、ばいじん

○製品認定

宮城県グリーン製品認定 （ケイワ・リサイクルセンター仙台）	令和 6 年 10 月 1 日 令和 9 年 9 月 30 日	造粒再生砕石「RC-40」
うつくしま、エコリサイクル製品認定 （ケイワ・ゼロエミプラントならは）	令和 5 年 10 月 1 日 令和 8 年 9 月 30 日	造粒石

○運搬登録車両 ※2025 年 2 月時点

<恵和興業株式会社>

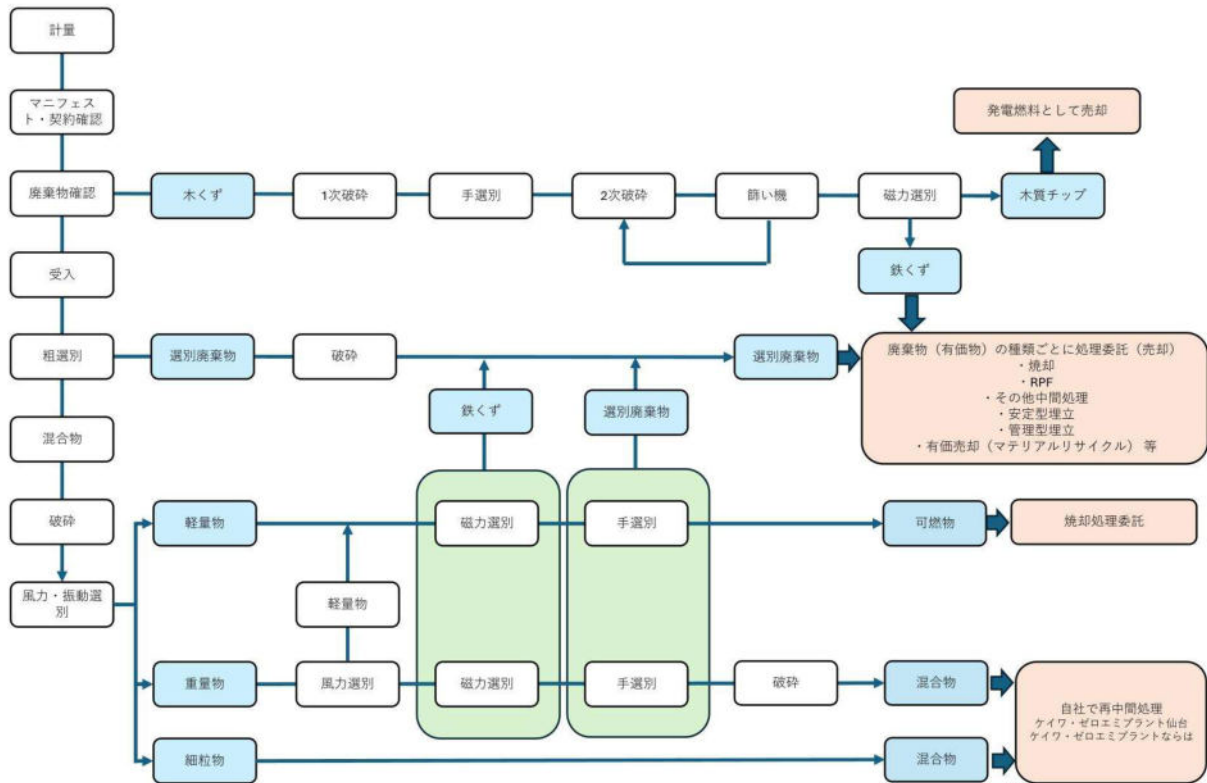
・積載型トラッククレーン車	1 台	・キャブオーバー	1 台
・着脱式コンテナ	3 台	・バン	2 台
・大型 ダンプ車	3 台	・軽自動車	1 台

<ケイワ・エコグリーン株式会社>

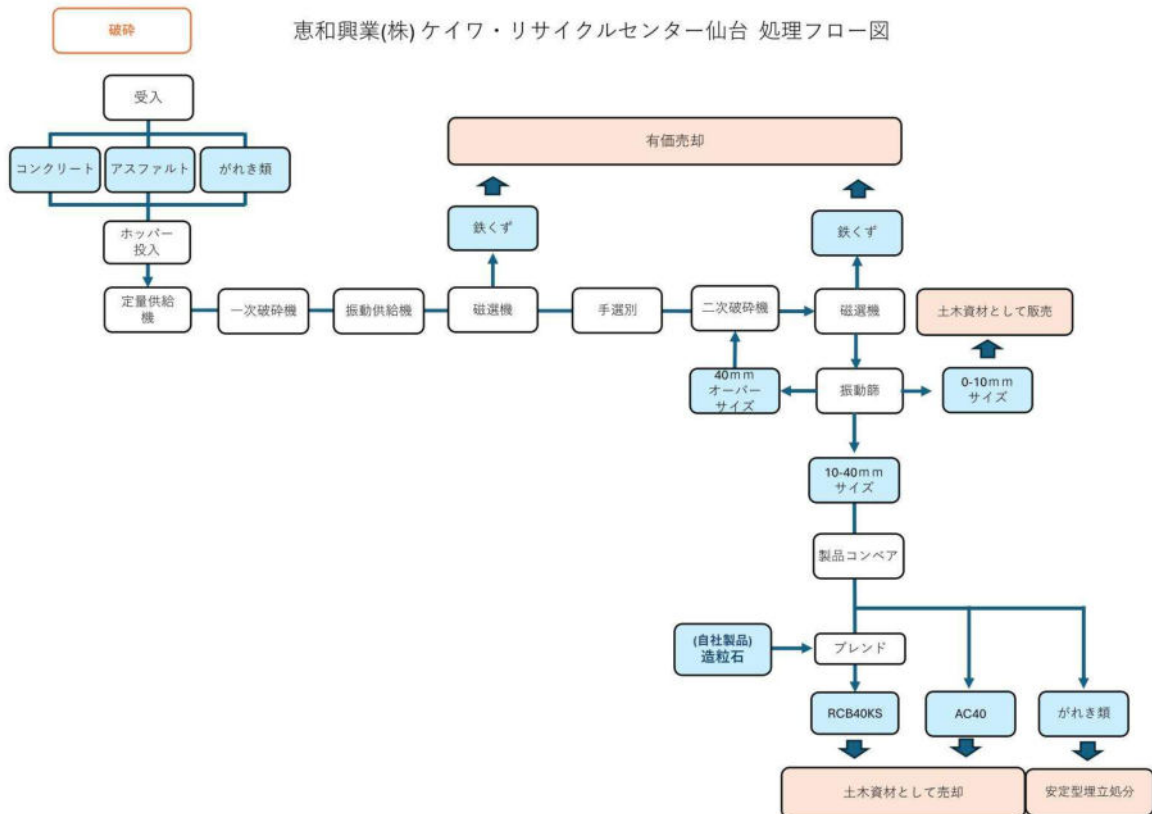
・積載型トラッククレーン車	9 台	・ダンプ車（大型、深）	6 台
・着脱式コンテナ	3 台	・バン	2 台

4. 処理の流れ

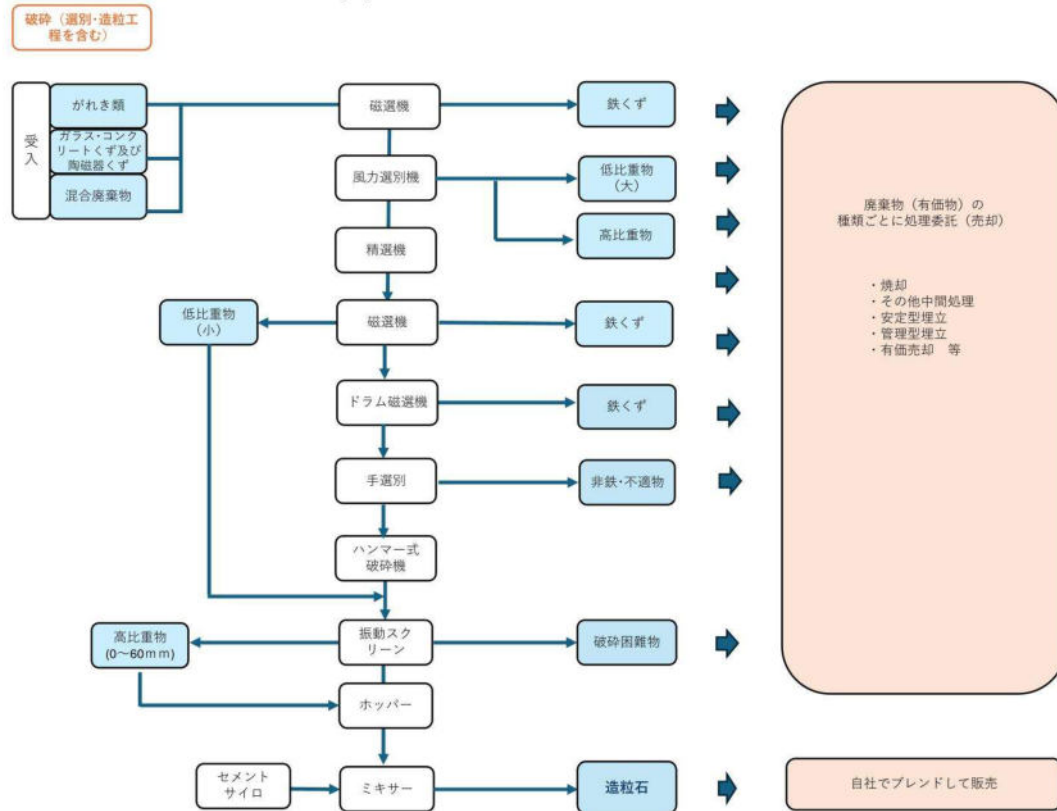
恵和興業(株) ケイワ・リサイクルセンター福島 処理フロー図



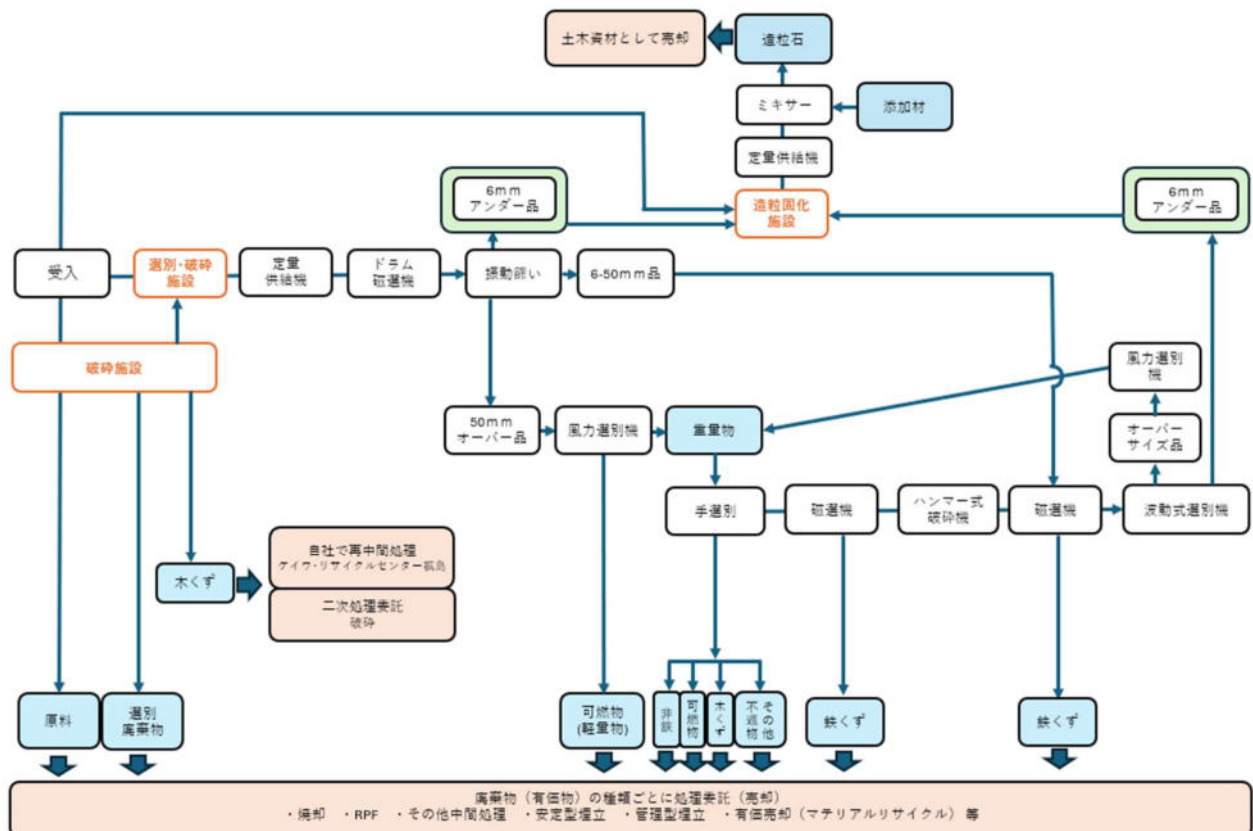
恵和興業(株) ケイワ・リサイクルセンター仙台 処理フロー図



恵和興業(株) ケイワ・ゼロエミプラント仙台 処理フロー図



恵和興業(株) ケイワ・ゼロエミプラントならは 処理フロー図



6. 廃棄物の運搬量・受託量・処分量

集計期間：2024年4月～2025年3月

区分		廃棄物の種類		処理方法等	重量（t）
収集運搬		がれき類			3,873
		ガラス陶磁器くず			2,532
		廃プラスチック			3,443
		木くず			3,603
		紙くず			249
		繊維くず			313
		混合廃棄物			11,659
		金属くず			161
		廃油			1
		石綿含有物			638
		蛍光灯			0
		汚泥			0
		ばいじん			128
		鉱さい			64
		燃え殻			16
		廃アルカリ			1
受託収集運搬量_合計					26,680
受託産業廃棄物		がれき類		各事業所の処理方法による	76,239
		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		各事業所の処理方法による	6,390
		廃プラスチック類		各事業所の処理方法による	3,729
		木くず		各事業所の処理方法による	4,650
		紙くず		各事業所の処理方法による	250
		繊維くず		各事業所の処理方法による	321
		混合廃棄物（安定型・管理型）		各事業所の処理方法による	22,507
		金属くず		各事業所の処理方法による	205
		うち再資源化※	木くず	製品化（木チップ）	6,054
			がれき類、ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	製品化（造粒石、RC40）	95,943
金属くず、紙くず、廃プラ	有価売却		1,809		
受託廃棄物量_合計					114,291
再資源化量_合計※					103,807
中間処理	中 間	廃プラ、紙、木、繊維		破碎・粉碎・圧縮固化等	6,035
		がれき、ガラ陶、廃プラ、紙、木、繊維		焼却	5,166
	最 終	安定型混合廃棄物(委託)		安定型埋立	6,959
		管理型混合廃棄物(委託)		管理型埋立	2,868
処理委託廃棄物量_合計					21,027
一般廃棄物処理量（福島事業所_木くず）				中間処理（製品化）	14
※同月に自社で再資源化したものを集計しているため、全量が同月受入したものとは限らない。					

※同月に自社で再資源化したものを集計しているため、全量が同月受入したものとは限らない。

7. 環境経営方針

●基本理念

恵和興業及びケイワグループ企業は「ゼロエミッション達成」を目標に産業廃棄物の収集運搬・再資源化・土木資材製造販売を通じて、持続可能な循環型社会の構築と未来の住みよい子供たちの環境づくりに取り組みます。

●行動指針

- (1) 受託した産業廃棄物の収集・運搬、処分における環境配慮を推進します
- (2) 事業活動に伴い発生する二酸化炭素、産業廃棄物、及び水使用量を削減し環境負荷の低減に努めます。
- (3) 事業活動に係る環境関連法規及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- (4) 当環境経営方針をすべての従業員に周知し、環境教育等による社員の意識向上と環境経営システムの継続的改善を行います。
- (5) 社員一人ひとりの意識の向上を図るため、教育・啓蒙活動に積極的に取り組みます。

2024年4月23日改定

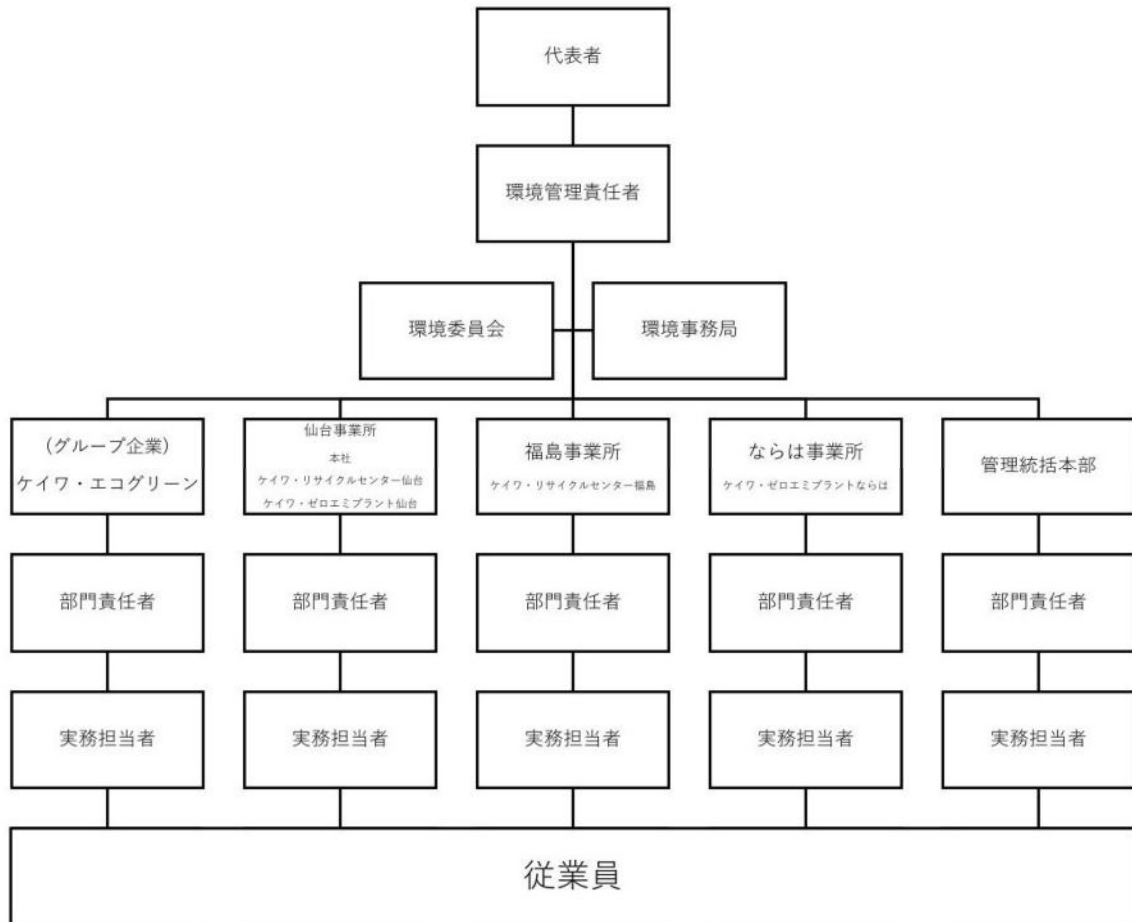
恵和興業株式会社

代表取締役 笹川 慎太郎

8. 実施体制

【EA21 組織図】

2024/4/1 時点



環境管理責任者および担当者の氏名・連絡先

環境管理責任者

恵和興業株式会社 事業統括本部 執行役員 福島事業所長 物流最適化担当 本多 亮
024-593-1451 (福島事業所)

担当者 (エコアクション 21 事務局)

恵和興業株式会社 管理部 営業事務 2 課 主任 熊谷 伊豆美
022-347-9961 (仙台事業所)

9. 役割・権限・責任

代表者	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムに必要な経営資源(人・設備・資金・情報)の準備 ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 実施体制の構築 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 内部環境監査の依頼 ・ 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・ 環境経営目標、環境経営計画の承認 ・ 全体の評価及び見直し・指示の実施
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施等全体活動の推進 ・ 環境経営目標、環境活動計画及び環境経営システム関連文書の確認 ・ 環境経営目標、環境活動計画及び実施体制の全従業員への周知 ・ 環境委員会の構成及び運営 ・ 全社環境経営目標、環境経営計画の推進及び進捗管理 ・ 環境関連法規制の取りまとめ及び遵守評価の確認 ・ 環境関連教育実施の推進 ・ 代表者による全体評価のための必要情報の報告 ・ 是正処置及び予防処置の発動 ・ 環境経営レポートの作成及び公表
環境委員会	・ 定期開催による環境取組結果の報告及び確認 ・ 環境への取組における問題点の協議 ・ 環境経営レポート内容の把握 ・ 内部環境監査の実施 ・ エコアクション 21 審査準備及び指摘事項への対応 ・ 環境経営システムの経営者による見直し事項への対応
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・ 環境への負荷及び取組の自己チェック結果全社版のとりまとめ ・ 各事業所環境への取組の実績集計、とりまとめ、結果の報告 ・ 環境関連法規一覧表の作成及び全社遵守評価結果のとりまとめ ・ エコアクション 21 認証登録関連及び環境に関する外部コミュニケーションの窓口 ・ 内部環境監査に係る計画の作成、実施の補助 ・ 環境経営レポート原案の作成
部門責任者	・ 自部門における環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画の周知 ・ 自部門における環境経営目標、環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・ 自部門における環境関連法規制等の遵守評価 ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・ 緊急事態訓練の実施 ・ 環境管理責任者の指示による自部門関連問題の是正・予防処置の実施
実務担当者	・ 部門責任者の補佐 ・ 自部門における環境経営目標、環境経営計画及び環境経営システム関連文書の作成 ・ 自部門における環境への負荷の自己チェック及び取組の自己チェックのとりまとめ
従業員	・ 環境経営方針の理解と取り組みの重要性の自覚 ・ 環境経営計画に定められた内容の実施

10. 環境経営目標（単年度および中長期）

環境経営目標（単年度および中長期）

ケイワグループ

環境経営目標		実績				目標(対基準年比)					
		2023年度				2024年度(3%減)		2025年度(4%減)		2026年度(5%減)	
原単位あたり目標の基準(2023年度)											
処分量・運搬量 合計(t)	155,732	排出量/使用量(合計)	(単位)	原単位あたり (原単位/使用量)	(単位)	総排出量	原単位あたり	総排出量	原単位あたり	総排出量	原単位あたり
人数(人)	128										
所有車両台数	20										
CO2 排出量削減（全体）		2,026,384	kg-CO2	13.0	kg-CO2/t	1,965,592	12.6	1,945,328	12.5	1,925,065	12.4
	福島事業所	497,834	kg-CO2	15.0	kg-CO2/t	482,899	14.6	477,921	14.4	472,943	14.3
	仙台事業所	460,501	kg-CO2	5.9	kg-CO2/t	446,686	5.7	442,081	5.6	437,476	5.6
	ならは事業所	376,969	kg-CO2	24.2	kg-CO2/t	365,659	23.5	361,890	23.2	358,120	23.0
	管理統括本部	32,692	kg-CO2	1923.0	kg-CO2/人	31,711	1865.3	31,384	1846.1	31,057	1826.9
	エコグリーン	658,388	kg-CO2	23.0	kg-CO2/t	638,636	22.3	632,052	22.1	625,469	21.9
	電力使用量（全体）	1,299,637	Kwh	8.3	Kwh/t	1,260,648	8.1	1,247,652	8.0	1,234,655	7.9
	福島事業所	364,405	Kwh	11.0	Kwh/t	353,473	10.7	349,829	10.6	346,185	10.4
	仙台事業所	468,473	Kwh	6.0	Kwh/t	454,419	5.8	449,734	5.7	445,049	5.7
	ならは事業所	429,344	Kwh	27.6	Kwh/t	416,464	26.7	412,170	26.5	407,877	26.2
	管理統括本部	26,911	Kwh	1583.0	Kwh/人	26,104	1535.5	25,835	1519.7	25,565	1503.9
	エコグリーン	10,504	Kwh	1050.4	Kwh/人	10,189	1018.9	10,084	1008.4	9,979	997.9
	CO2排出量（係数：事業所による）※	558,606	kg-CO2	4	kg-CO2/t	541,848	3	536,262	3	530,676	3
燃料使用量削減	ガソリン使用量（全体）	21,865	ℓ	1093	ℓ/台	21,209	1060	20,990	1050	20,772	1039
	福島事業所	3,851	ℓ	481.3	ℓ/台	3,735	466.9	3,697	462.1	3,658	457.3
	仙台事業所	2,913	ℓ	970.9	ℓ/台	2,825	941.8	2,796	932.1	2,767	922.3
	ならは事業所	3,677	ℓ	1225.7	ℓ/台	3,567	1189.0	3,530	1176.7	3,493	1164.4
	管理統括本部	8,739	ℓ	2184.8	ℓ/台	8,477	2119.3	8,390	2097.5	8,302	2075.6
	エコグリーン	2,685	ℓ	1342.5	ℓ/台	2,604	1302.2	2,578	1288.8	2,551	1275.4
	CO2排出量（係数：2.32）	50,726	kg-CO2	2536	kg-CO2/台	49,204	2460	48,697	2435	48,190	2409
	灯油使用量（全体）	431	ℓ	0.003	ℓ/t	418	0.003	414	0.003	409	0.003
	福島事業所	431	ℓ	8.3	ℓ/t	418	8.1	414	8.0	409	7.9
	仙台事業所	0	ℓ	0.0	ℓ/t	35	1.2	35	1.2	34	1.2
	CO2排出量（係数：2.49）	1,073	kg-CO2	0.01	ℓ/t	1,128	0.01	1,116	0.01	1,105	0.01
	LPG使用量（全体）	1,226	kg	0.01	kg/t	1,189	0.01	1,177	0.01	1,165	0.01
	福島事業所	24	kg	0.5	kg/t	24	0.5	23	0.5	23	0.4
	仙台事業所	33	kg	1.1	kg/t	32	1.1	31	1.1	31	1.1
	ならは事業所	1,122	kg	0.1	kg/t	1,089	0.1	1,077	0.1	1,066	0.1
	管理統括本部	40	kg	2.3	kg/人	38.5	2.3	38.1	2.2	37.7	2.2
	エコグリーン	7	kg	0.7	kg/人	7	0.7	7	0.7	7	0.7
	CO2排出量（係数：3.0）	3,678	kg-CO2	0.02	kg-CO2/t	3,568	0.02	3,531	0.02	3,495	0.02
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量（全体）	3,887	kg	0.02	kg/t	3,771	0.02	3,732	0.02	3,693	0.02
	福島事業所	870	kg	16.8	kg/人	844	16.3	835	16.1	827	15.9
	仙台事業所	1,183	kg	40.8	kg/人	1,148	39.6	1,136	39.2	1,124	38.8
	ならは事業所	738	kg	36.3	kg/人	716	35.2	708	34.8	701	34.5
	管理統括本部	906	kg	53.3	kg/人	879	51.7	870	51.2	861	50.6
	エコグリーン	190	kg	19.0	kg/人	184	18.4	182	18.2	181	18.1
	産業廃棄物排出量（全体）	83,502	kg	0.54	kg/t	80,997	0.52	80,162	0.51	79,327	0.51
	福島事業所	10,722	kg	1.7	kg/人	10,400	1.7	10,293	1.6	10,186	1.6
	仙台事業所	72,780	kg	0.9	kg/t	70,597	0.9	69,869	0.9	69,141	0.9
	ならは事業所	0	kg	0.0	kg/t	2,000	0.13	1,980	0.13	1,960	0.13
水使用量の削減（全体）		2,460	m3	0.02	m3/t	2,386	0.02	2,362	0.02	2,337	0.02
	福島事業所	地下水利用（メーターなし）のため使用量の把握不可									
	仙台事業所	292	m3	10.1	m3/人	283	9.8	280	9.7	277	9.6
	ならは事業所	2,023	m3	25.8	m3/人	1,962	25.0	1,942	24.8	1,922	24.5
	管理統括本部	115	m3	6.8	m3/人	112	6.6	110	6.5	109	6.4
	エコグリーン	30	m3	3.0	m3/人	29	2.9	29	2.9	29	2.9
受託座席の環境配慮 軽油使用量の削減（全体）（重機・収集運搬車両等）		555,308	ℓ	3.6	ℓ/t	538,649	3.5	533,096	3.4	527,543	3.4
	福島事業所	131,425	ℓ	4.0	ℓ/t	127,483	3.8	126,168	3.8	124,854	3.8
	仙台事業所	99,373	ℓ	1.3	ℓ/t	96,392	1.2	95,398	1.2	94,404	1.2
	ならは事業所	73,604	ℓ	4.7	ℓ/t	71,396	4.6	70,660	4.5	69,924	4.5
	エコグリーン	250,906	ℓ	8.8	ℓ/t	243,379	8.5	240,870	8.4	238,361	8.3
	CO2排出量（係数：2.58）	1,432,695	kg-CO2	9	kg-CO2/t	1,389,714	9	1,375,387	9	1,361,060	9

仙台事業所：燃料使用量削減 ④灯油は、2023年度使用量は0だったため、2022年度使用量(36ℓ)を基準値として目標値を算出
 ならは事業所※⑦2023年度実績なし、2年分の排出量把握の為

11. 環境経営計画

環境目標	取組項目	環境経営計画実施内容
CO2 排出量削減	電力使用量削減	エアコン温度設定の適正化、リモコン設定の適切利用
		設備稼働待機時、不要箇所・設備の電源OFF
		定期フィルター清掃
		クールビズ、ウォームビズの実施
		サーキュレーターの併用
		冷蔵庫の適正管理、給湯室で使用する電化製品の電力抑制
	ガソリン使用量削減	エコドライブ、アイドリングストップの実施
		車両・タイヤ等の定期点検実施・適正管理
		運転経路の見直し（最短）
		コンプレッサー・発電機・溶接機の計画的作業の実施
	灯油使用量削減	暖房設定温度の徹底、不使用時電源OFF、設置場所等の見直し
	LPG 使用量削減	シャワー使用時の温度と湯量の適正使用
		給湯器温度設定の適正化
		フォークリフトのアイドリングストップ
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減	ゴミ箱の分別利用・減容化の指導、分別徹底の掲示
		水筒やマイ箸等の持参
		排出量の把握
		再資源化の推進、シュレッター処理紙の再利用
	産業廃棄物排出量削減	マイボトル、マイカップ持参の実施
		排出量の把握、適正管理
		再資源化の推進
水使用量削減		節水シール、ポスターの掲示
		節水状況、事業場内漏水の監視
		水量の調節、適正利用
受託産廃の環境配慮	軽油使用量削減 (重機・収集運搬車両等)	重機・運搬車両の定期点検、オイル交換の実施
		アイドリングストップ・エコドライブの実施
		エコモードでの作業実施(重機)
		車両運搬経路の見直し
取組深化の活動	取組の活性化	事業所周辺環境保全活動(事業所内外の清掃・除草活動)
		環境配慮商品の購入推進
		雑紙の分類
		取組内容・結果の見える化
		寄付活動の実施

12. 環境経営目標およびその実績

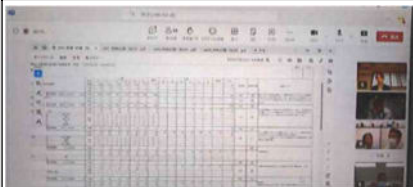
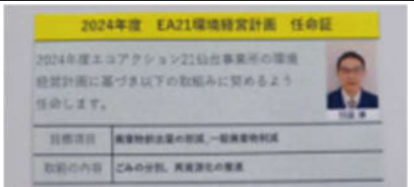
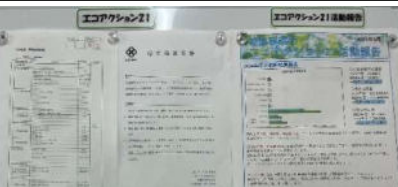
環境経営目標		2023年度	2024年度		総排出量/総使用量の達成状況						
		実 績	目 標	実 績	全体	福島 事業所	仙台 事業所	ならは 事業所	管理 統括本部	エコ グリーン	
CO2 排出量削減		総排出量 (単位：kg-CO2/t)	2,026,384	1,965,592	1,973,491	◎	◎	◎	◎	◎	○
		原単位あたり (単位：kg-CO2/t)	13.0	12.6	13.5	排出量の目標は全事業所達成。原単位あたりの目標は仙台事業所、ならは事業所、管理統括本部、エコグリーンは達成。福島事業所では廃棄物搬入量減少に対し使用量が比例して減少しなかったため、エコグリーンでは一般廃棄物排出量および軽油使用量が増加したため未達となっている。					
	電力使用量	総使用量 (単位：kwh)	1,299,637	1,260,648	1,180,308	◎	◎	◎	◎	◎	○
		原単位あたり (単位：kwh/t)	8.3	8.1	8.0	使用量の目標は全事業所達成。原単位あたりの目標は仙台事業所、ならは事業所、管理統括本部、エコグリーンは達成。福島事業所では廃棄物搬入量減少に比例して使用量が減少しなかったため未達となっている。各事業所で不要場所の消灯やエアコンの温度の最適化、こまめなフィルター清掃等を実施した結果、グループ全体の電気使用量を抑えることができた。					
燃料使用量削減											
ガソリン	総使用量 (単位：ℓ)	21,865	21,209	23,861	△	×	×	◎	◎	○	
	原単位あたり (単位：ℓ/台)	1,093	1,060	1,100	使用量の目標、原単位あたりの目標ともに、ならは事業所、管理統括本部、エコグリーンは達成。福島事業所、仙台事業所ともに社用車の増車および使用者、使用機会の増加により未達となっている。電気自動車の活用やエコドライブの実施等環境に配慮した取り組みを続けていく。						
灯油	総使用量 (単位：ℓ)	431	418	898	×	×	—	—	—	—	
	原単位あたり (単位：ℓ/t)	0.003	0.003	0.006	灯油使用は福島事業所のみだったが使用量の目標未達、原単位あたりの目標達成。下半期に工場・休憩所の暖房で灯油を利用しており、従業員からの要望で暖房機器を増やしたことにより未達となった。今後、仕事のしやすさと省エネのバランスを考えていく。						
LPG	総使用量 (単位：kg)	1,226	1,189	1,202	◎	◎	×	◎	◎	◎	
	原単位あたり (単位：kg/t)	0.008	0.008	0.003	使用量の目標、原単位あたりの目標ともに、全事業所達成。ならは事業所ではLPGガスを使用するフォークリフト2台の内、1台を電動の機種に変更、管理統括本部では給湯機の設定温度変更を行った。						
廃棄物排出量削減											
一般廃棄物排出量	総排出量 (単位：kg)	3,887	3,771	3,717	◎	◎	△	◎	◎	△	
	原単位あたり (単位：kg/t)	0.02	0.02	0.03	排出量の目標、原単位あたりの目標ともに、福島事業所、ならは事業所、管理統括本部は達成。仙台事業所では排出量の約7割をリサイクルセンターへ持込、資源物として売却しており、次年度からは缶・ビン・ペットボトルもリサイクルセンターにて資源回収を行い、排出量削減に努める。エコグリーンでは紙使用量を減らして、シュレッダーごみを削減していく。						
産業廃棄物排出量	総排出量 (単位：kg)	83,502	80,997	30,401	◎	◎	◎	◎	—	—	
	原単位あたり (単位：kg/t)	0.54	0.53	0.20	排出量の目標、原単位あたりの目標ともに、全事業所達成。福島事業所では廃油の排出量が少なく、ならは事業所では廃油売却を行ったことが影響している。						
水使用量の削減	総使用量 (単位：m3)	2,460	2,386	2,554	○	—	○	○	○	○	
	原単位あたり (単位：m3/t)	0.02	0.02	0.02	ならは事業所の工業用水の原単位あたりの目標のみ未達。上半期に環境省業務を受注したことにより、工場の稼働率が前年度より大幅に上昇したことが影響している。						
受託産廃の環境配慮											
軽油使用量削減 (重機・収集運搬車両等)	総使用量 (単位：ℓ)	555,308	538,649	554,649	○	◎	◎	○	—	○	
	原単位あたり (単位：ℓ/t)	3.6	3.5	3.8	使用量の目標は全事業所達成。原単位あたりの目標は福島事業所、エコグリーンで未達。福島事業所では廃棄物搬入量の減少と使用量が比例していないこと、エコグリーンでは収集運搬車両走行距離が前年比106%となっていることが影響している。引き続きエコドライブを実施し、軽油使用量削減に努める。						

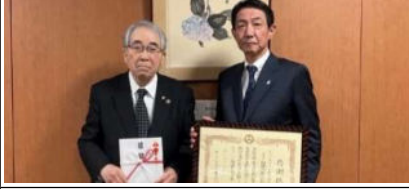
【達成率評価基準】

◎ 計画より達成できた(達成率100%以上) ○ 概ね達成できた(90～99%) △ 少し未達成(70～89%) × 大幅に未達成(70%未満) — 該当なし

13. 環境経営目標に対する取組結果は下記の通りとなりました

14. 環境活動状況

内部コミュニケーションの取組		
		
電子掲示板への月1回の活動結果報告のほか、3か月に1度リモートで環境委員会を開催し、定期報告と活発な意見交換の場としている。	2024年9月、福島事業所にてトレジャーマッチングを開催した。家庭の未使用品等のリデュース・リユースの促進を図った。	2025年3月、ならは事業所にてエコアクション勉強会の実施。
		
仙台事業所にて事業所内トイレにマイハンカチ運動ポスター掲示。	従業員の意識向上のため、仙台事業所にて環境経営計画各担当の任命証を作成し、配布。	福島事業所にてエコアクション活動報告の掲示。
安全・環境配慮		
		
2024年5月、福島事業所にて安全運転講習会実施。	2024年6月、楡葉町立地企業新和会春のクリーンアップ作戦へ参加。	2024年6月、猪苗代湖ボランティア清掃へ参加。
		
2024年9月、ならは事業所にてAED講習会を実施。	2024年9月、管理統括本部にて防災グッズ・非常食の点検を実施。	2024年10月、ポイ捨て防止キャンペーンに参加。
		
2024年10月、エコグリーンにて油漏れ対策訓練実施。	2024年12月、仙台事業所にて火災対応訓練を実施。	2025年2月、福島事業所にて健康講話を実施。

募金・寄付活動		
		
2024 年 8 月、コミュニティブリッジひまわりへお中元寄付。	2024 年 10 月、福島県双葉郡楡葉町にてチャリティーコンサートを開催。	2024 年 10 月、日本赤十字社宮城支部へ寄付。
		
2024 年 11 月、宮城県産業資源循環協会主催の少年野球大会へプルタブを寄付。	2025 年 1 月、コミュニティブリッジへお歳暮寄付。	2025 年 2 月、仙台市へ仙台ふるさと応援寄付を実施。
		
2025 年 2 月、福島市へ企業版ふるさと納税による寄付を実施。	2025 年 2 月、楡葉町へ企業版ふるさと納税による寄付を実施。	2025 年 2 月、郡山市へ寄付。
その他活動(外部コミュニケーション等)		
	産業廃棄物…?	
2024 年 8 月、ふくしまゼロカーボン宣言へ参加。	2024 年 9 月、ふくしま産業廃棄物 EXPO2024 へ参加。	2024 年 10 月、楡葉町あるこう会へ参加。
		
福島、仙台にてミニコンサートを開催。	2024 年 10 月、ビジネスセミナー、名刺交換会を開催。	2024 年 11 月、ならは事業所、12 月福島事業所にて「ふくしま産業廃棄物バスツアー 2024」実施。
		
2025 年 1 月、楡葉町との「災害廃棄物等の処理に関する基本協定」を締結。	2025 年 2 月、仙台市行書にて地域安全セミナーを開催。	2025 年 3 月、西田町ひょろゲ大会へ参加。

15. 環境経営計画および取組結果とその評価

取組計画	原単位目標 の達成状況 (全体)	評価 (2025 年 3 月) (事業所コメント)
■CO ₂ 排出量の削減	○	(福島事業所) 廃棄物搬入量減少に対し、使用量が比例して減少しなかったため、原単位あたりの目標は未達。 (エコグリーン)年間目標少し未達成となった。一般廃棄物、軽油使用量が影響しているが、一般廃棄物削減に重点を置き、取り組む。
>電力の使用量 ・エアコン温度設定の適正化、リモコン設定の適切利用 ・設備稼働待機時、不要箇所・設備の電源OFF ・定期フィルター清掃 ・クールビズ、ウォームビズの実施 ・サーキュレーターの使用 ・冷蔵庫の適正管理、給湯室で使用する電化製品の電力抑制	◎	(仙台事業所) 不要箇所の節電やエアコンのこまめな温度調整を行ったことにより、電力使用量は年間を通して一定に保つことが出来た。9・1・2 月は処理量が比較的少なくなったため、ほぼ横ばいの電力使用量でも原単位当たりの実績値が高くなった。 (管理統括本部) 前年度と比較して、ほぼ横ばいとなった。冬季の原単位使用量が、目標を超過しており下期は平均値も上昇した。暖房効率を上げ、使用量減少に努めたい。
>ガソリン使用量の削減 ・エコドライブ、アイドリングストップの実施 ・車両・タイヤ等の定期点検実施・適正管理 ・運転経路の見直し (最短) ・コンプレッサー・発電機・溶接機の計画的作業の実施	○	(福島事業所) 営業車・社用車の増加、利用者・利用機会の増加によりガソリンの使用量が増加した。 (仙台事業所) 7 月にハイエース、10 月にプリウスが追加されたことにより、それ以降のガソリン使用量が増加した。また、年末年始は挨拶回りなどの影響で使用量が増加した。
>灯油使用量の削減 ・暖房設定温度の徹底、不使用時電源 OFF、設置場所等の見直し	×	(福島事業所)冬季にかけて使用量が増えたが年間目標を達成した。
>LPG 使用量の削減 ・シャワー使用時の温度と湯量の適正使用 ・給湯器温度設定の適正化 ・フォークリフトのアイドリングストップ	◎	(ならは事業所) LPG ガスを使用するフォークリフトが 2023 年度は 2 台あったが、1 台を電動の機種に変更(2023 年度秋頃)し、1 台になったため、総使用量および原単位あたり使用量とも計画より良く達成できた。 (仙台事業所) お湯の使用頻度が高い冬季の使用量が高くなった。来年度はシャワーの設定温度を夏季は 38℃、冬季は 41℃に設定し、使用量削減に努める。
■一般廃棄物排出量の削減 ・ゴミ箱の分別利用・減容化の指導、分別徹底の掲示 ・水筒やマイ箸等の持参 ・排出量の把握 ・再資源化の推進、シュレッター処理紙の再利用	○	(仙台事業所) 5・7・10・12・3 月は排出量が高くなったが、そのうちの 7 割ほどがリサイクルセンターへ持込、売却をしている資源ごみである。4 月からは缶、瓶、ペットボトルもリサイクルセンターにて資源回収を行い、CO ₂ 削減に努める。 (エコグリーン) 年間目標少し未達成。本年度も月平均 20 kg で推移しており処分量は増加していないが、紙の使用量を削減しシュレッダーごみの削減に努める。
■産業廃棄物排出量の削減 ・マイボトル、マイカップ持参の実施 ・排出量の把握、適正管理 ・再資源化の推進	◎	(福島事業所) 7 月よりペットボトルを有価売却したことおよび廃油の排出量が少なかったため、目標を達成することができた。 (ならは事業所)廃油を年間約 400 リットル(ドラム缶 2 本分)排出したが、買取のため重量データ無し
■水使用量の削減 ・節水シール、ポスターの掲示 ・節水状況、事業場内漏水の監視 ・水量の調節、適正利用	△	(ならは事業所) 工業用水の総使用量の目標に対しては概ね達成であるが、原単位あたりの排出量としては大幅に未達成。上半期に環境省業務を受注したことにより、工場の稼働率前年度より大幅に上昇したことが要因として考えられる。 (エコグリーン) 年間目標概ね達成。引き続き水量の調整やこまめな蛇口の開閉に留意し、節水に取り組む。

■受託産廃に関する環境配慮 >収集運搬・重機用軽油使用量削減 ・重機・運搬車両の定期点検、オイル交換の実施 ・アイドリングストップ・エコドライブの実施 ・エコモードでの作業実施(重機) ・車両運搬経路の見直し	○	(ならば事業所) 総使用量および原単位あたり使用量ともおおむね達成できた上半期に環境省業務を受注したことにより、レンタル重機3分の使用量が増量したことが要因として考えられる(エコグリーン) 年間目標少し未達成。収集運搬車両走行距離前年比106%に増加、引き続きエコドライブを実施し軽油使用料削減に努める。
■取組深化の活動 >取組の活性化 ・事業所周辺環境保全活動(事業所内外の清掃・除草活動) ・環境配慮商品の購入推進 ・雑紙の分類 ・取組内容・結果の見える化 ・寄付活動の実施	-	各事業所にて町内清掃活動や環境配慮商品の購入推進、寄付活動実施、地域イベントへの参加等を行った。今後も積極的に活動を広げていきたい。

16. 環境関連法規等 遵守状況の確認と評価

当社に適用となる主な環境関連法規等について、遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また過去3年間、関係行政当局からの違反等の指摘や訴訟等はありません。

法規制の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の収集運搬業許可、産業廃棄物処分業許可、一般廃棄物処分業許可	○
	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の収集運搬に関する基準	○
	産業廃棄物の処分に関する基準	○
	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)の保管基準、届出義務等	○
	産業廃棄物の委託基準	○
	産業廃棄物管理票及び電子情報処理組織の使用	○
消防法	消防用設備等の定期点検と結果の報告、事故時の処置	○
福島市火災予防条例 双葉地方広域市町村圏組合火災予防条例 仙台市火災予防条例 郡山地方広域消防組合火災予防条例	指定数量未満の危険物の貯蔵及び取り扱いの基準、届出等	○
道路運送車両法	自動車の登録、安全運転義務の徹底	○
道路交通法	安全運転管理者の選任・交通安全教育の実施	○
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	○
浄化槽法	設置・変更の届出、保守点検・清掃、水質検査	○
環境省関係浄化槽法施行規則	清掃記録保存義務	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品の設置及び使用する環境の維持保全、簡易点検及び定期点検、フロン類の漏洩時の措置、点検及び整備に係る事項	○
	フロン類の一定量以上漏洩時の報告義務、適正な廃棄及び処分費用負担、回収依頼書又は委託確認書の発行と保存義務、フロン類の放出禁止	○
水質汚濁防止法	事故時の措置(油を含む水の流出等)	○
騒音規制法	規制基準の遵守	○
振動規制法	規制基準の遵守、設置の届出	○
資源の有効な利用の促進	廃棄物の3Rの推進	○
グリーン購入法	環境物品等を選択するよう努める	○

17. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション 21 活動において事業所独自に実施している取組みには評価できるものがいくつもあるので、環境委員会のみならず社内掲示板等でも広く共有し、全社的な環境活動の活発化を期待します。

関連法規の遵守状況については、引き続き環境委員会の中で注意を払ってもらいたと思います。



18. 次年度の環境経営計画

環境目標	取組項目	2025 年度 環境経営計画_実施内容
CO2 排出量削減	電力使用量削減	エアコン温度設定の適正化、リモコン設定の適切利用
		不要箇所の電源 OFF
		電化製品の電力抑制・適切利用等
		定期的なフィルター清掃
		サーキュレーターの併用
		クールビズ、ウォームビズの実施
	ガソリン使用量削減	アイドリングストップ・エコドライブの推進
		運転経路の見直し(最短)
		タイヤ空気圧の適正保持、定期メンテナンスの実施
		コンプレッサー、発電機、溶接機の計画的作業の実施
	灯油使用量削減	不要時の電源 OFF、設置場所等の見直し
	LPG 使用量削減	適正使用の見直し
		フォークリフトのアイドリングストップ
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減	排出量把握
		分別の徹底、ゴミ箱の分別利用・減容化の指導、分別徹底の掲示
		再資源化の推進
		マイハンカチ、マイ箸等の持参
		シュレッター処理紙の再利用
	産業廃棄物排出量削減	マイボトル、マイカップ持参の実施
		分別の徹底及び再資源化推進、適正管理、発生状況の把握
水使用量削減	水使用量削減	節水シール・ポスターの掲示、節水状況の監視
		漏洩の監視、適正利用
受託産廃に関する 環境配慮	収集運搬・重機用 軽油使用量削減	アイドリングストップ・エコドライブ・エコモード(重機)の推進
		車両運搬経路の見直し(最短)
		定期点検・オイル交換及びメンテナンスの推進・実施
取組み深化の活動	取組みの活性化	取組内容、結果の見える化
		事業所周辺の環境保全活動
		環境配慮商品の購入推進
		雑紙の分別
		寄付活動の実施